

機械器具 51 医療用嘴管及び体液誘導管  
管理 気管支吸引用カテーテル（JMDNコード：31249000）  
**サフィード®吸引カテーテル**

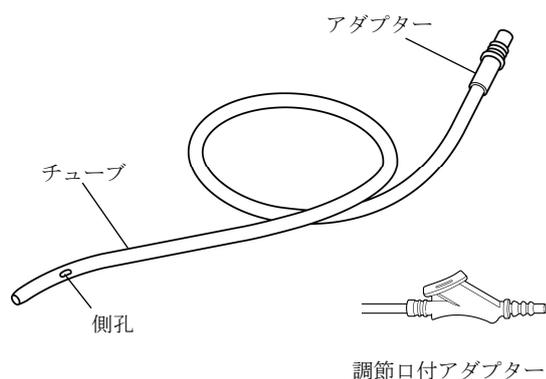
再使用禁止

【禁忌・禁止】

- ・再使用禁止

\*【形状・構造及び原理等】

＜構造図（代表図）＞



- ・本品はポリ塩化ビニル（可塑剤：フタル酸ジ（2-エチルヘキシル））を使用している。

\*【使用目的、効能又は効果】

＜使用目的＞

本品は、気管内の唾液及び痰などの粘液吸引用カテーテルである。

\*【品目仕様等】

＜カテーテルの気密度＞

39kPa (0.4kgf/cm<sup>2</sup>) で空気を送り込むとき、洩れがない。

\*【操作方法又は使用方法等】

1. 汚染に十分に注意し、包装から取り出す。
2. 接続する吸引器チューブと確実に接続する。

調節口付品種

3. カテーテル先端が吸引する部位に達するまでは、調節口を開放状態に保つ。
4. カテーテル先端が吸引する部位に達したら、調節口を指で塞ぐことにより、吸引を開始する。

＜使用方法に関連する使用上の注意＞

- ・吸引時は口腔、鼻腔、咽頭、喉頭、気道粘膜への損傷に十分注意すること。特に長期にわたり人工呼吸を行っている患者の場合は、定期的に気管支ファイバー等で気道粘膜の状態を観察すること。〔吸引カテーテル先端が繰り返し気道粘膜を損傷し、出血する可能性がある。〕

【使用上の注意】

＜重要な基本的注意＞

- ・併用する医薬品及び医療機器の添付文書を確認後、使用すること。
- ・本品はポリ塩化ビニルの可塑剤であるフタル酸ジ（2-エチルヘキシル）が溶出するおそれがあるので、注意すること。
- ・チューブを鉗子等でつまんで傷をつけないように、また、注射針の先端、はさみ等の刃物、その他鋭利物等で傷をつけないように注意すること。〔チューブに液漏れ、空気の混入、破断が生じる可能性がある。〕
- ・チューブ及びチューブと接続している箇所は、過度に引っ張るような負荷やチューブを押し込むような負荷、チューブを折り曲げるような負荷を加えないこと。〔チューブが破損する、又は接合部が外れる可能性がある。〕
- ・挿入時には、歯、鼻甲等及び鋭い器具等でチューブに傷をつけないよう注意すること。〔チューブに液漏れ、空気の混入、破断が生じる可能性がある。〕
- ・気管内チューブに本品を挿入する場合は、気管内チューブの内径にあったチューブサイズを選択すること。
- ・包装が破損、汚損している場合や、製品に破損等の異常が認められる場合は使用しないこと。
- ・包装を開封したらすぐに使用し、使用後は感染防止に留意し、安全な方法で処分すること。

【貯蔵・保管方法及び使用期間等】

＜貯蔵・保管方法＞

- ・水ぬれに注意し、直射日光及び高温多湿を避けて保管すること。

＜有効期間・使用の期限＞

- ・使用期限は外箱に記載（自己認証による）

【包装】

- ・50本/箱

\*\*【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称及び住所等】

製造販売業者：テルモ株式会社

住所：東京都渋谷区幡ヶ谷2丁目4番1号

\*\*電話番号：0120-12-8195 テルモ・コールセンター

製造業者：テルモ株式会社

外国製造所の名称：泰尔茂医療産品（杭州）有限公司

Terumo Medical Products (Hangzhou) Co., Ltd.

国名：中華人民共和国

